

これまでの経過

◆平成24年4月 御堂筋の管理が国から大阪市に移管

◆平成24年6月 「グランドデザイン・大阪」の策定

「グランドデザイン・大阪」

新たな都市構造に対応した御堂筋の将来像

車重視から人重視の道路空間へ

・自動車空間を極力削減し、歩行者空間などに転換 ・短期的取組みとして、「御堂筋側道の歩行者空間化」

◆平成24年12月 「大阪都市魅力創造戦略」の策定

「大阪都市魅力創造戦略」

～御堂筋フェスティバルモール化～

にぎわい空間の形成・歩行者空間の形成

・御堂筋デザインストリートの実現 ・集客の核となる拠点の整備・誘導 ・歩行者空間の充実

◆平成25年11月 側道を閉鎖した社会実験の実施（新橋交差点～難波西口交差点付近）

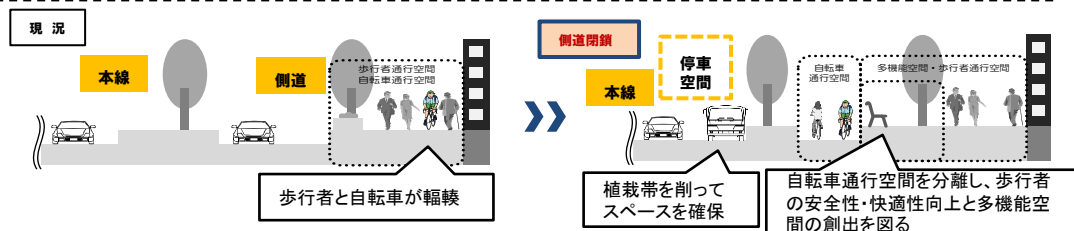
◆平成26年10月 賑わい創出社会実験の実施（伏見町交差点～平野町交差点付近）

◆平成26年10月～11月 パブリックコメントの実施

空間再編のイメージ

○空間再編のイメージ

- 東西の側道を閉鎖し、車道を6車線から4車線に縮小することで、歩行者や自転車のための空間として新たに再編する。
- 歩道を拡張することで、新たに多機能空間を創出する。
- 自転車専用の通行空間を新たに設けることで、歩行者と自転車の通行空間の分離を図る。



※北側（淀屋橋～新橋間）については、段階的整備も検討

平成27年度の取り組み

◆モデル整備の実施

➢側道を利活用した「御堂筋側道の歩行者空間化」に向けて、千日前通以南（難波交差点～難波西口交差点間）の東側街区で、喫緊の課題である歩行者と自転車が歩道内で輻輳している状況の解消を行う。

➢整備により道路空間再編の将来イメージを現地で可視化し、歩行者・自転車通行の安全性や快適性、にぎわい形成等の検証につなげていく。

○モデル整備の実施時期（予定）

H27年度：千日前通以南（難波交差点～難波西口交差点間）東側街区

H28年度：千日前通以南（難波交差点～難波西口交差点間）西側街区

